

平成25年度

東京学芸大学附属特別支援学校 研究協議会

教育課程の新たな展開に向けた取り組みⅢ

—教育課程を評価するしくみを用いて—

本校は「教育課程の新たな展開に向けた取り組み」を主題とした研究を進めております。3年目の今年度は、「教育課程を評価するしくみを用いて」をサブテーマとして、幼児児童生徒のライフステージごとの課題に合わせて、これまでの指導実践の結果を評価しながら支援内容の改定を行っています。研究協議会では、専門性の向上を目指し、発達障害に伴う身体症状の理解を深める講演も予定しております。多くの方々にご参加を頂き、特別支援教育の更なる充実・発展に向けた議論が深まる場になれば幸いです。



◆期日 平成26年1月24日(金)

◆分科会テーマ

幼稚園部

幼児期の自己意識と共感性を育む
—タブレット端末で
保護者と協働する学習支援—

小学部

児童期の人間関係を育む全員参加型授業
—友人・仲間関係を中心として—

中学部

中学部段階における
「働く生活」「将来の生活」について考える

高等部

高等部3年間で教えるべき
生活知識を考える

◆講演

本人調査からみた発達障害の身体問題(感覚過敏・身体症状等)の諸相
—その理解と支援—

高橋 智(東京学芸大学)

近年、発達障害の本人・当事者が有する困難・ニーズに関して、感覚情報調整機能障害(感覚過敏・鈍麻)や身体症状(身体の不調・不具合)などの身体問題が注目されています。講演では、これまで研究室で取り組んできた発達障害の本人調査を通して、発達障害の身体問題の諸相や理解・支援について報告します。【ポイント】①感覚過敏・身体症状の中核は「強い不安やストレス」と想定される。②感覚過敏・身体症状の緩和・改善には安心できる環境・人間関係、発達障害や発達困難に対する適切な発達支援が必要。身体症状等についての「本人の認知・理解の発達」(自分は何に困って、どのように対処すればいいのか等の理解)や「主体性・能動性の形成」(自分で作れば食べられる等)が不可欠である。

■主催 東京学芸大学附属特別支援学校

■後援 東京都教育委員会 東久留米市

■会場 東京学芸大学附属特別支援学校 成美教育文化会館

◆日程

9:00	9:40	11:00	11:10	11:45	12:45	14:45	15:00	16:20
受付	研究授業 公開授業	移動	全体会	昼食	分科会	移動	講演会	

◆授業の概要と分科会の提案要旨

学部	授業名	授業の概要と提案要旨	共同研究者
幼稚園部	朝の集まり (月曜版)	研究授業では、幼児1人に1台ずつ配したタブレット端末を使用して幼児同士が休日の様子を見せ合う活動を参観いただきたい。分科会では、ライフスキルを育むICT活用の提案と本授業を支えた保護者との協働のしくみについて紹介する。	橋本創一 林安紀子
小学部	つたえよう	「つたえよう」では児童全員が各々のコミュニケーション手段を用いながら活動に参加し、関わり合う授業を参観いただきたい。分科会では、小学部段階において誰とどのような関係を育んでいきたいかについて協議できればと考える。	小笠原恵 小池敏英 藤野 博
中学部	くらし (生活知識)	「くらし(生活知識)」では卒業後の生活についても扱ってきた。働く生活、将来の生活、高等部の生活について中学部段階でどのように押さえるか検討し、3年間を通して段階的に指導できるよう整理した内容について協議していきたい。	伊藤友彦 加瀬 進 澤 隆史
高等部	くらし (生活知識)	「くらし(生活知識)」の授業における指導内容について、最近の社会の変化を考慮しながら検討してきた。そこで研究授業及び分科会では、高等部3年間で生徒が学べき生活知識の指導内容について協議していきたい。	奥住秀之 濱田豊彦

◆参加申し込みの方法

□申し込み方法

参加申し込みは、同封の「参加申込書」または、ホームページに掲載されている「参加申込書」に必要事項をご記入の上、ファックスもしくはメールでお送りください。

□締め切り

平成26年1月15日(水) 以降はお問い合わせください

□費用

参加費:2,000円 お弁当代:800円(ご希望の方のみ)

□問い合わせ先

東京学芸大学附属特別支援学校 TEL/FAX 042-471-5274/5275

〒203-0004 東京都東久留米市氷川台1-6-1

URL: <http://ns.yougo.u-gakugei.ac.jp> Email: sskenkyu@u-gakugei.ac.jp

研究主任:井上